

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和6年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年4月25日

団体名 fun fun fun

代表者 原田 あゆみ

構成員 10人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的:団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

子育て支援活動として親子で参加、そして親子の絆を深める講座を開催し  
子育てで悩んでいる方々の会話、そしてアドバイス、同じ子育てをしている方々のコミュニケーションの  
場を設け、孤独なママを減らす目的、内向的母子家庭にプラスと捉え、社会参加を促す目的。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。  
なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
毎月 火曜日	むらさきかん	赤りん お母さん	10人	親子で体を動かす 親子の絆を深める講座の交流の場を開催した。
11/24	やはまかん	講座を受けた お母さん と保護者の方	100人	講座で練習してきたものを たくさんの方の前で披露の場を 開催した。
3/16	岡崎中央 親善公園	親子	200人	どなたでも参加できる 親子と一緒に競技に参加してもらう 運動会を開催した。
3/24	矢作北 市民ホール	矢作学区の 小学校児童	20人	春休み期間 子供達の思い出づくりとして フットボールを開催した。

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

色々の地域交流センターにて開催をする事により、より多くの親子が知る事へ、おき  
参加して下さる親子の絆を深める事へおき、子育てへの考え方や悩み事と相談する場を設け  
る事により、同じく悩んでいる方々も見え、親子でつながり、そしてコミュニケーションの場をつなげました。

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← 5 (4) 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

講座を開催し、たくさんの方々が参加して下さり  
親子の絆を深め、お互いの悩み事に寄り添い、子育てが楽しくなる声が多く  
聞かれたので、今後も続けていきたいと思います。

裏面の自己診断チェックリストもご記入ください。